

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	5001	(H.29)No.	5001
-----------	------	-----------	------

事務事業名	財産管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	契約管財室	羽後 和秀	

会計区分	事業コード	022001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	財産管理費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 財産管理費	財産管理費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	未来につながる自立と協働による市政経営
	基本施策	2	自主自立の市政経営
	施策	2	成熟社会に対応する行政運営
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
普通財産の効率・効果的な管理と新たな財源の確保を図るため、財産の活用や処分等について検討を進める。
事業内容
市有財産維持管理事業(普通財産の管理)

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産台帳整備</li> <li>・未利用財産である美旗東部保育所跡地の売却にかかる事務</li> <li>・その他市有財産の適正な維持管理。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有財産の適正な維持管理と有効活用の推進</li> </ul>		

  

主な事業の実績・計画	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有財産の適正な維持管理と有効活用の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有財産の適正な維持管理と有効活用の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有財産の適正な維持管理と有効活用の推進</li> </ul>

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		15,663千円		9,487千円	9,487千円	9,487千円	9,487千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(庁舎等諸雑入 他)		132		386	386	386
一般財源	0	15,531	0	9,101	9,101	9,101	9,101
人工数	職員		0.83人	0.83人	0.83人	0.83人	0.83人
	臨時職員等		0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
②概算人件費	0千円	6,232千円	0千円	6,232千円	6,232千円	6,232千円	6,232千円
①+②総事業費	0千円	21,895千円	0千円	15,719千円	15,719千円	15,719千円	15,719千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
固定資産台帳の整備を行った。また、地域等へ未利用地の貸付を行い、市有地の除草作業を地域づくり組織に委託するなど、地域等と連携することにより、地域振興と管理経費の削減を図った。その他、財源確保を図るため、未利用財産である美旗東部保育所跡地の売却事務をすすめ公募を行ったが、売却には至らなかった。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
昨年度、売却できなかった東部保育所跡地の市有地について先着順販売を実施、今年度に売却できるよう引き続き事務を行う。今後の取り組みとしては、市有財産を適正に管理するよう現在の手法を基本とし、未利用財産については、売却の促進及び地域の意向に沿った貸付を行うなど有効活用を図る。

6. 事務事業の取組に関する市の計画